

長崎空港

【実施主体:個社】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	賃上げを含む処遇改善のために不可欠な受託料の引き上げ	総代理店への委託料の見直し	本社にて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料の引き上げを実施。R7年度契約料の見直し検討に着手。	
		検査会社への委託料の見直し	本社にて、国内定期航空保安協議会を通じて、R5年度契約料の引き上げを実施。R6年度契約料金の引き上げを実施。R7年度契約料の引き上げを実施するとともに処遇改善状況を確認。	
【短期】	人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化(キャンセル料の設定 等)	検査会社への委託契約条件の設定	本社にて、検査会社への委託契約に時間保証を継続して設定。検査場のレーン数に応じ総括責任者の配置も支払い対象化。	
【短期】	職場環境改善に向けた取組の推進	職場環境課題の定期的なヒアリング	本社にて、全国空港所長による定例会議等を通じ毎月職場環境課題の集約を実施。対応を検討中。	
【短期】	職員の負担の集中を回避するための正確な現状把握	生産量ならびに生産対応状況の把握	本社にて、総代理店の生産対応状況を毎月把握。	
【短期】	適切な業務量による高負荷の抑制			
【短期】	採用活動の推進(グラハン経験者採用の強化(Uターン・Iターンの活用) 等)	総代理店合同企業説明会の実施	総代理店各社と人財課題についての意見交換を実施し、オンラインでの合同企業説明会を実施。	
【短期】	教育期間の短縮に向けた工夫(実践技術に特化した訓練等)			
【短期】	需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入			
【中期】	長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			

【実施主体:個社】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【中期】	ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進	施設・設備の改善	休憩室、更衣室、通信環境等の現状調査、および改善を実施。IT環境の整備、暑さ対策等を順次実施。	
		カスタマーハラスメント対策の推進	同業他社間において共同で「カスタマーハラスメントに対する方針」を策定。	
【中期】	特定技能制度の積極的な活用			
【長期】	短時間労働やマルチタスク化を含む多様な働き方の実現			
【長期】	業務内容や技術に応じた賃金の設定			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	人件費圧縮競争を防止する観点からの多重委託構造や雇用慣行・契約慣行の見直し(保安検査における長い拘束時間の見直し 等)	特定業務に対する委託費構造改革	二次委託の多い特定業務に対する委託費構造改革に着手。	

【実施主体:空港会社等】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	空港内の労働環境の改善	①入居テナントが利用できるフリースペースの充実 ②保安検査場検査員の労働環境の改善	①R5.3月にフリースペースとして入居テナントが利用できる休憩室を整備。R5.5月に飲食自販機を設置するとともに、R5.9月に人目を気にせずゆっくり出来るよう衝立を設置。 ②保安検査場改修に合わせ、保安検査員の作業スペースの確保を図るとともに、検査用トレーの回収・配置に要する導線を見直し、保安検査員の業務負荷が低減されるレイアウトに改修を実施中。また、労働環境改善を目的にエアコンを追加設置予定。	
【短期】	空港の知名度を生かした採用活動(空港短期の合同説明会等)			
【短期】	マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】	空港WGの活動推進			
【中期】	GSE車両の共有化・共用化の推進			
【中期】	男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進(「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備等)			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	スマートレーン等の先進機器の導入			

【実施主体:空港会社等】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	サプライチェーン等を意識した効率的な設備配置に向けた調整			

【実施主体:地方自治体】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーションの強化(人員体制等の正確な現状把握 等)	対面やオンラインによる協議	冬ダイヤからの国際線の運航再開に向けた具体的な調整のほか、チャーター便・定期便の就航に向けた課題等に係る協議を実施	R5年10月30日から長崎~上海線が運航再開するための体制整備を実現
【短期】	空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施	部局横断的な連携による空港関連企業合同説明会・見学会の周知	3月に開催する「長崎空港おしごと説明会・見学会」の学生等への周知を産業労働部や教育庁と連携して実施	
【短期】	空港業務支援も誘致支援の一部と位置づけた上での関係部局(観光、産業振興 等)と連携した支援の実施	部局横断的な連携による空港関連企業合同説明会・見学会の周知	3月に開催する「長崎空港おしごと説明会・見学会」の学生等への周知を産業労働部や教育庁と連携して実施	
【短期】	空港WGの活用推進	国際線受入体制整備に向けた意見交換	国際線の受入体制に係る現状・課題の共有のほか、空港関連企業の人材確保に向けた合同説明会・見学会の実施に係る協議を実施。	R6.3月23日に「長崎空港おしごと説明会・見学会」を空港内で開催予定
【中期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討(空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等)			
【中期】	特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備			
【長期】	就航メリットを享受する主体間のリスク分担の実現			
【長期】	持続可能な観点からの戦略的な路線誘致(交通部局と観光部局との緊密な連携)			
【長期】	地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の充実			

【実施主体:国】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【短期】	各空港におけるベストプラクティスの横展開(事例収集・整理等)	他空港の取組情報の共有を行うことで、今年2月、7月に空港WGを開催し国際線運航再開に向けて、直面するハンドリン人材不足などの課題を中心に検討への参考としてきたが、今冬ダイヤから国際線再開の目途はたったが、引き続き、長崎県など自治体も含めて、長崎空港関係者で協議し空港業務全般における人材不足の課題や対策について検討を続けている。	各空港の取組情報を共有し長崎空港における今後の取り組みの参考として活用している。	
【短期】	地域の意欲的な取組への積極的な協力(空港説明会への参画等)	説明会への協力・参画及び空の日を通じたPR等	説明会への協力・参画(受付や案内の協力、空港見学の実施)、空の日を通じたPR等	
【短期】	生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援(先進機器の整備補助等)	地方空港等受入環境整備事業費補助金	補正補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等	
【短期】	各主体による取組の重要性の発信	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」の再周知	「空港業務の持続的発展に向けたビジョン」について、各主体の取組の更なる浸透を図るため空港WGを開催し再周知。	
【短期】	空港WGの活用推進	空港業務体験等の開催可否検討	長崎県と協力して空港ビル会社、航空会社、給油会社、保安検査会社等に対してビル会社待合室などを活用して業務説明会や現場業務見学会等が開催できないか長崎空港WGにおいて提案し、模索している。	
【中期】	空港DXの導入促進に向けた実証実験	他空港の導入事例等の横展開	空港運営会社と連携し、空港WGにおいて航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。	
【中期】	更なる支援措置等の検討(人材確保・育成、業務効率化、GX/DX等)	・R5年度補正予算にかかる補助メニューの説明を関係者へ実施 ・R5年度補正補助金制度を積極的に活用いただくよう周知を実施	補助事業の内容についてわかりやすく説明を行い、活用してもらうよう取り組んだ。	
【長期】	先進技術等の開発・実証、更なる活用の推進	空港WGの構成員に対し情報共有を図り、本事業にとりくめるよう執り行っている。	共有された情報を元に、活用できる範囲で取り組んでいけるよう検討する。	

【実施主体:国】

長崎空港

	項目	具体的取組事例	取組内容	備考(効果等)
【長期】	業界ルール整備を前提とした、専門学校との連携強化や共同訓練の推進	本取組みについての情報共有を図り、空港WG構成員へ周知している。	共有された情報を元に、活用できる範囲で取り組んでいけるよう検討する。	
【長期】	処遇改善・業務効率化等に必要な保安関係料金の適正水準のあり方の検討	本取組みについての情報共有を図り、空港WG構成員へ周知している。	共有された情報を元に、活用できる範囲で取り組んでいけるよう検討する。	
【長期】	必要に応じた制度的見直し			
【長期】	空港に関する基礎的データの収集・整理(職員数、年齢構成、年代別年収、離職率 等)			